

「ミナミ活性化協議会」第2回代表者会議議事録

1 会議日時

平成18年11月28日(火)午後6時30分から午後7時00分までの間

2 会議場所

ホテルメトロ The 2 1

3 出席者

大阪府副知事(高杉豊)、大阪市長(關淳一)、大阪府警察本部長(近石康宏)、ミナミ
歓楽街環境浄化推進協議会会長(岡本敏嗣)、ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人(福
長徳治)、社団法人関西経済連合会会長(秋山喜久)、大阪商工会議所常議員・中央支部
長(松本孝)、社団法人関西経済同友会代表幹事(森下俊三)

4 意見交換要旨

大阪市長

この1年でミナミは大きく変わった。特に宗右衛門町のはみ出し看板の自主規制は、
地元努力の成果であり、素晴らしい。

行政は、地元の取組みに対してすばやくレスポンスしなければならない。

放置自転車も社会実験区間では6割減少した。路上ごみも月平均で前年比1.5トン
減量していることも大きな成果である。

大きく進んだが、自転車問題などまだやる必要がある。この取組みを今後も継続して
いく。まさに「継続は力なり」であると思っている。

大阪府副知事

個人的にもミナミが非常に変わったという印象を持っている。これは、やはり地元の皆様の取
組みによるところが一番大きい。

それに加えて、警察が取り締まりをきっちり行ったことで本当に変わった。

この1年で、はみ出し看板の自主規制や客引きの95%減など、ミナミが外観的にも美しく、ま
た安全なまちに変わってきたこと、これは他の大きなモデルになる。

他も触発され、大阪全体が非常に美しくまた、安全になることは、世界から大いに来て欲しいと
いう産業界も含めて、単にミナミだけではなく、大阪全体の活性化の先鞭をつけることになると思
うので、是非これを継続してもらいたいし、市長と一緒に後押ししていきたい。

大阪府警察本部長

客引きは95%も減少し、大きな成果があがった。

また、風俗案内所もケバケバしさがなくなり、適正化が図られたことで、一定の成果が出たと思っている。

しかし、客引きがゼロではないということは、がん細胞と同じで増殖する可能性があることから手を抜くことはできない。

継続は力なりである。来年も引き続き、府警は生活安全部と南警察署を核として歓楽街総合対策を重点推進項目に指定し組織をあげて、全力で取り組む。

また、地元の皆さんをはじめ関係団体・機関と連絡を密にしながらやっていきたい。

この取り組みは、緒についたばかりで良くなったとばかり言っておれない。油断すると元に戻る可能性が非常に高いので、力一杯やっていかなければならない。

関西経済連合会会長

1年前と比べて隔世の感がある。

大阪の顔といえば、ミナミと来訪者は考えている、と言っても過言ではない。

そのミナミのイメージが、地元の地道な活動、府・市が協力しての条例改正、府警による取締りの努力で、この1年間でかなり変わり、大阪の都市格、ブランド力が高まってきた。

地元の方々、警察、行政そして経済界も協力して、今後、大阪のブランド力を更に高めていきたい。

大阪商工会議所中央支部長

私はミナミで生まれ育ち、商売を始めてから40年近くになり、ミナミに対する愛着は人一倍強い。

条例改正など、皆の力で、大きく急速にミナミは変わりつつある。

その裏で南警察署員500名近くの皆さんが昼夜を問わず頑張っていることを感謝しなければならない。

大商では、野村会頭を先頭に「大阪に賑わいを創り出す」をテーマとして取り組んでおり、中央支部でも「ミナミに賑わいを」と積極的なアクションを起こしている。

駐輪対策では、大阪市長から力強い言葉をいただいたので、一日も早く具体的な対策を講じるようご配慮を願いたい。

関西経済同友会代表幹事

この1年、行政・警察・地元の方の努力で大きな成果を出されたことに敬意を表したい。同友会は、委員会を含めてミナミに非常に関心を持っており、よくここまで来たというのが実感である。

今秋、同友会の西日本大会で会員に「きれいになったミナミをみてほしい」と言ったところである。

行政が旗を振るというのは大切であるが、最終的には住民・市民が主体にならないと活動が続かず、本物にならない。産業界として意見を言ったり、協力したりすることはできるが、最後は住民の街に対する愛着であり、この活動はその面でも良い形になっている。

キタでも地元と警察・行政による悪質風俗店排除の活動が始まったということを知っており、ミナミが良くなることは、キタも良くなることにつながる。

大阪の顔としてのキタとミナミの両方が良くなっていくことが、産業界の自慢であり、これからもこの活動を定着させていただきたい。

ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人

各界の代表の皆さん方から力強い言葉を頂き、ありがたい。

我々が目指しているのは、人気のある、賑わいのある街であり、ミナミが良くなければ、大阪そして日本は良くなる。

警察・行政・経済界のバックアップがあればこそ、ここまでできたと思っており、このバックアップを今後とも心からお願いしたい。

ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長

はみ出し看板の自主規制やアメリカ村の落書き消しは、できないと思っていたことができた。これは、行政・警察・経済界の後押しがあればこそであり、我々地元も心強かった。

また、一つの商店街ではできないことが、まとまってやればできるということも大きな自信になった。

今後は、次の2点を考えている。

良くなってきたが、風俗案内所は微増傾向にあることから、官民共同でこれら対策をとっていかなければならない。安心安全がベースであり、いつまでもそのことを忘れることなく、合同パトロールを含め継続していきたい。

次に駐輪問題である。

難しいがゆっくり考えていても進まない。地元の自転車部会で啓発キャンペーンを行うことでまとまった。キャンペーンでは、我々民間も努力して駐輪場を確保するとともに、できるなら道頓堀川上の工事用鉄板を利用した仮設駐輪場の設置等対策を講じたうえで、一定期間を駐輪禁止などの放置自転車対策を行いたい。

そして、単なるキャンペーンではなく、どんな人が停めているのか、どのエリアから来ているのかというような今後の駐輪対策を実施していく上でデータがきちりと残るようなキャンペーンにしたい。

地元はキャンペーンを実施し、しっかり取り組んでいこうと考えがまとまっているので、行政も対応願いたい。

5 ミナミ宣言の採択

全会一致でミナミ宣言を採択した。

ミナミ宣言

われわれは、西日本最大の繁華街である大阪ミナミをかつての賑わいのある街に再生し、活性化するため、昨年「共同アピール」を発表し、オール大阪で、健全で魅力あるまちづくりに向けた取組みを進めてきた。

その結果、悪質な客引きの減少や風俗案内所の適正化、はみ出し看板の自主規制など、ミナミの環境は大幅に改善しつつある。

しかしながら、この取組みは緒についたばかりであり、気を緩めることなく、地元、行政、経済界が一体となって、これまでの取組みを継続、発展させ、ミナミをこよなく愛する人々はもとより、訪れる全ての人々が安全に安心して遊び、楽しめるまちづくりを進めていかなければならない。

われわれは、今後ともミナミが安全なまちに変わりつつあることを国内外に積極的にアピールするとともに、「みんなでつくろう ええ街ミナミ」を合言葉に、活力あるまちの再生を目指して、引き続き全力を上げて取り組むことをここに宣言する。

平成 18 年 11 月 28 日

ミナミ活性化協議会

大阪府知事	太田 房江
大阪市長	關 淳一
大阪府警察本部長	近石 康宏
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡本 敏嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人	福長 徳治
社団法人関西経済連合会会長	秋山 喜久
大阪商工会議所会頭	野村 明雄
社団法人関西経済同友会代表幹事	森下 俊三

